

**セキュリティインシデントを管理する「CSIRT MT.mss」の
30 日間無償トライアルプログラムの提供を開始
現場と経営の情報分断を防ぎ、タイムリーな状況把握と意思決定を実現**

株式会社 GRCS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木 慈和、以下 当社）は、統合セキュリティリスク管理ツール「CSIRT MT.mss」の 30 日間無償トライアルプログラム（以下 本プログラム）の提供を開始いたしました。

国内で不正アクセスや情報漏えいが相次ぐ中、本プログラムでは、インシデント対応の迅速化や脆弱性の自動抽出による対応の効率化とあわせ、経営層がタイムリーに被害状況や対策進捗を把握できる可視化の仕組みを、実際の運用に近い形で体験いただけます。

<背景>

昨今、国内の複数の事業者において、不正アクセスおよび個人情報・機密情報の漏えい事案が相次いで発生しています。これを受け独立行政法人情報処理推進機構（以下 IPA）の注意喚起（※）においても、経営者のリーダーシップのもとでのサイバーセキュリティ対策の点検や見直しを求める注意喚起が発出されています。

インシデント発生時における被害拡大防止や企業価値の毀損回避には、現場（CSIRT/SOC）における迅速な検知・初期封じ込めだけでなく、経営層がタイムリーに正確な状況を把握し、法務対応や対外公表等の経営判断を下せる体制が不可欠です。

しかし多くの企業では、インシデント情報の集約や脆弱性対応の進捗管理が Excel やメールなどの個別管理にとどまり、現場の運用負荷増大や経営層への報告遅延が課題となっています。

こうした背景を受け、当社は CSIRT 運用の高度化と経営層への報告体制の確立を実現する「CSIRT MT.mss」を実際の運用に近い形で体験いただける無償トライアルプログラムを開始いたしました。

<統合セキュリティリスク管理ツール「CSIRT MT.mss」の特長>

「CSIRT MT.mss」は、インシデント管理および脆弱性管理を一元化するクラウド型アプリケーションです。

- ・ **経営層向けダッシュボードによる可視化**

インシデントの発生状況、影響範囲、対応ステータス、未対応の脆弱性などを一目で把握できるダッシュボードを搭載。経営層や監査部門への迅速な状況報告と意思決定をサポートします。

- ・ **初動対応の迅速化と対応漏れの防止**

専門ノウハウを凝縮した標準対応フロー例やメールテンプレートを標準搭載。発生直後の混乱しやすい現場において、タスクの漏れや初動遅れを防ぎます。

- ・ **脆弱性情報との自動連携による高度なリスク管理**

Kompira Sonar 等の資産管理ツールや脆弱性情報日次配信サービス（脆弱性 TODAY）と連携し、自社資産に関連する脆弱性を自動抽出。影響度の高いリスクから優先して対処できる運用基盤を提供します。

<トライアルプログラムの概要>

30 日間無償で「CSIRT MT.mss」をお使いいただけます。

対象：国内の企業、団体

費用：無償

詳細・お申込みは以下の Web ページをご覧ください。

URL：https://www.grcs.co.jp/promotion/csirtmt_today

※独立行政法人情報処理推進機構

不正アクセスによる漏えい等の事案を踏まえ、速やかに実施すべき対策等について（2026 年 10 月 9 日）

<https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/alert20261009.html>

<会社概要>

会 社 名：株式会社 GRCS

代 表 者：代表取締役社長 佐々木慈和

所 在 地：東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル 5F

設 立：2005 年 3 月

資 本 金：131 百万円

上場市場：東京証券取引所グロース（証券コード：9250）

事業内容：GRC・セキュリティ関連ソリューション事業

U R L：<https://www.grcs.co.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社 GRCS I R 担当
E-mail: ir@grcs.co.jp